

ウェルビーイングの現状を把握・分析し、今後の県施策に活かしていくため、県民意識調査を実施

- ・本調査は、現状把握・分析と指標策定のため、令和4年9月に初めて実施(今回で4回目)
- ・調査結果を踏まえ、「富山県ウェルビーイング指標」を策定、公表(R5.1)

対象:県内在住の15歳以上 5,500人 (R4初回: 18歳以上5,000人)

(市町村別・年代別に割り振り、無作為抽出)

期間:7月上旬に調査票を発送~7月24日締切り

(回答は郵送またはインターネット)



調査内容 ウェルビーイング指標の体系に基づき問いを構成

- 1. 総合指標設問(理想の生活に対する自己評価)
 - ・現在、過去(5年前)・未来(5年後)の総合実感
 - ・生活の調和とバランス
- 2. 分野別"なないろ"指標・つながり指標設問
 - ・心や身体の状態、生きがいなどへの自分自身の意識
 - ・家族、友人、職場・学校、地域、富山県との関係に対する意識・実感
- 3. ウェルビーイング施策の展開に関連した設問
 - ・健康、芸術、孤独・孤立、地域交流、居場所、災害対応、仕事についての意識など
- 4. 基本属性(年齢、性別、職業、家族構成など)



有効回答数

2,719

(有効回答率 49.4%)

年齢区分	計	(構成比)	男性	女性	性別無回答
15~19歳	376	13.8%	165	206	5
20~29歳	357	13.1%	151	198	8
30~39歳	424	15.6%	166	250	8
40~49歳	392	14.4%	153	229	10
50~59歳	371	13.6%	153	213	5
60~69歳	393	14.5%	166	223	4
70歳以上	402	14.8%	186	213	3
無回答	4	0.2%	0	2	2
合計	2,719	100.0%	1,140	1,534	45
		(性別構成比)	41.9%	56.4%	1.7%



•全体傾向は4カ年とも概ね同様 (総合実感(現在):10代が高く、40、50代が低いなど)

【個別の変化】昨年度比で数値変動がみられた項目を抜粋(いずれも4点満点)

- ・「富山県の未来に、期待や楽しみ、ワクワクする気持ちがある。」が全体的に上昇傾向 (20代 R6:2.26→R7:2.42)
- ・30代女性の「富山県での暮らしに不安はない(交通)」が下降 (R6:2,32→R7:2,06)

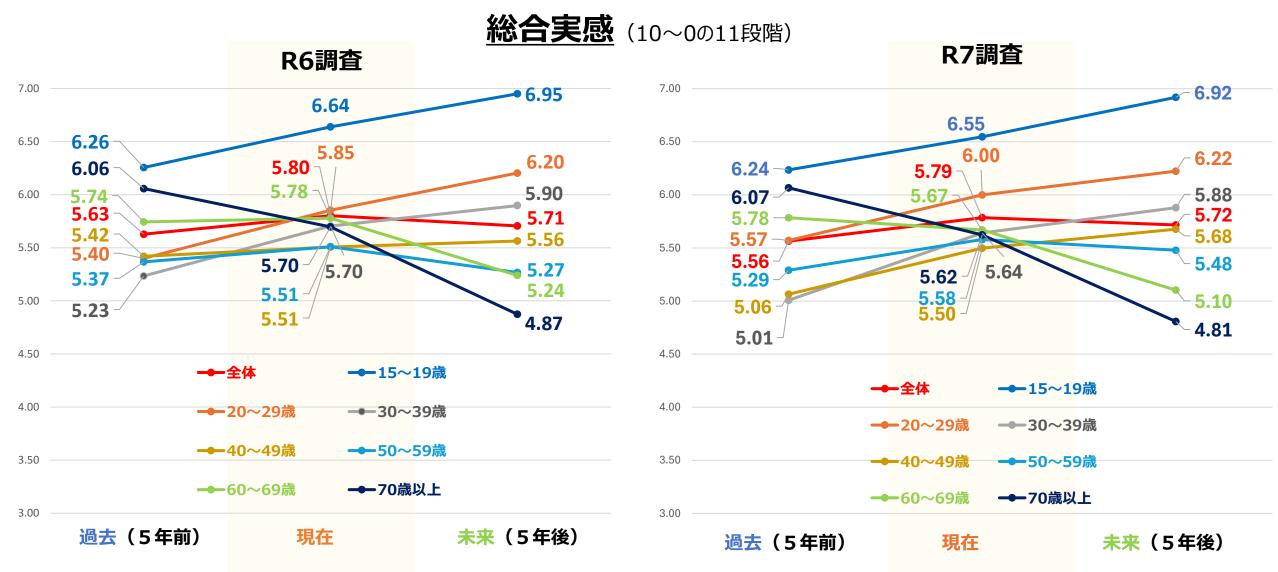
引き続き、県民の主観的ウェルビーイングを捉える指標・データとして活用

・昨年同様、データを仮説設定に用いるなど、政策に活かす

今後更に基本属性毎の分類、指標・設問間の関連を点検するなど、庁内で回答結果を分析 県民意識調査結果をまとめた「ウェルビーイング・ダッシュボード」を公開 →分析を基にした仮説設定プロセス等を通じ、庁内政策議論の深化につなげる

令和8年度予算編成にも活かしていく







ウェルビーイング県民意識調査結果(速報)として、下記項目を県ウェブサイトに掲載

- 1. 総合指標
- (1)総合実感
 - ①回答数、②年代別平均値及び男女別平均値、③年代・男女別回答割合
- (2) **生活の調和とバランス実感** 年代・男女別平均値及び4か年比較
- 2. 分野別指標(なないろ指標)、つながり指標 年代・男女別平均値及び4か年比較
- 3. ウェルビーイング施策の展開に関連した設問 <抜粋> 年代別回答割合